

<b>【技術の名称】</b> 安藤ハザマ式プレキャスト耐震壁工法 (AHPCa-Wall工法)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-10号 性能証明発効日：2019年12月12日 <b>【取得者】</b> 株式会社安藤・間
---	---

### 【技術の概要】

本技術は、プレキャスト化した耐震壁を対象とするもので、壁板の鉛直接合部の接合について、以下の2種類の方法を採用している点を特徴としており、いずれも接合筋を溶接接合等で直接的に接合しなくても所定の鉛直接合部の性能を確保できる。

差し筋形式は、側柱となる付帯柱と壁板の接合部を対象としたもので、付帯柱および壁板の建て方後、両部材を繋ぐように予めコンクリート内に埋設したシース管に直線形状の鉄筋（接合筋）を挿入し、鉛直接合部目地部とシース管内にモルタルを充填することで一体化する。

また、U字筋形式は、付帯柱と壁板あるいは壁板どうしの接合部を対象にしたもので、左右の接合面からU字形状の鉄筋（接合筋）を突出させ、接合部にモルタルあるいはコンクリートを打設することで一体化する。

なお、梁と壁板の水平接合部については、モルタル充填式継手を使用する。

### 【技術開発の趣旨】

従来のプレキャスト耐震壁では鉛直接合部においてプレキャスト部材から突出する相互の水平接合筋を溶接接合することが一般的である。本技術では、これを省力化、低コスト化するための接合方法を開発するものである。

### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「安藤ハザマ式プレキャスト耐震壁工法（AHPCa-Wall工法）設計施工指針」に従って設計・施工されたプレキャスト耐震壁の鉛直接合部は、同指針で定める長期荷重時、短期荷重時、および終局耐力時の必要性能を有する。

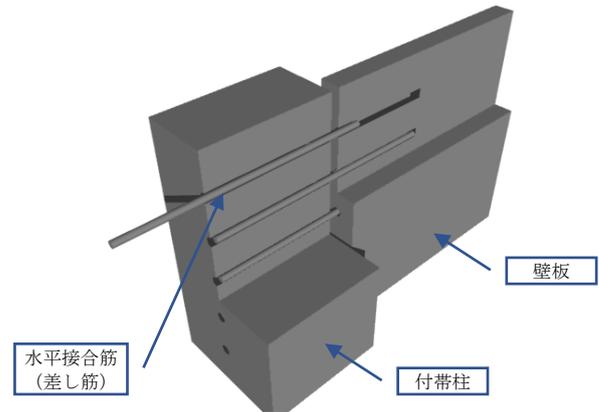


図1 鉛直接合部(差し筋形式)

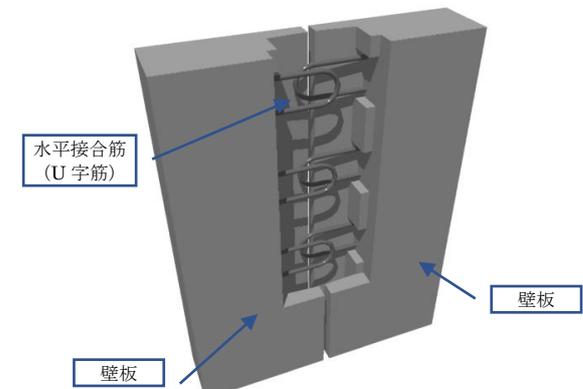


図2 鉛直接合部(U字筋形式)

### 【本技術の問合せ先】

株式会社 安藤・間 技術研究所 担当者：田畑 卓  
〒305-0822 茨城県つくば市荻間 515-1

E-mail：tabata.taku@ad-hzm.co.jp

TEL：029-858-8812 FAX：029-858-8819